

開発者座談会

『トラック狂走曲』誕生秘話



デコトラに魂を燃焼したスタッフ陣。前列左から椎橋さん、小山さん、矢野さん。後列左から牧野さん、伊藤さん、植草さん、狩野さん、久保田さん。



小山 順一郎

開発設計本部
テクニカルデザインチーム

本物の機材を投入し
リアルな箱車感覚を実現

従来のドライブゲームとは、ひと味もふた味も違いますよね。

小山 デコトラのもつ独特の世界観をいかに味わってもらえるかに主眼を置きました。で、考えに考え抜いた末に生まれたのが、「義理と人情のトラック野郎」のコンセプト。これを基本に様々な仕掛けを施しました。

矢野 例えば、道の途中でネコが出てくると、操縦不能になる。これを「人情避けシステム」と呼んでいます。

小山 義理と人情に厚い人が、動物を殺すなんてもってのほか！ だから、万一ネコに向かってハンドルを切った場合は、天罰が下るようになってます。もちろん、きちんと回避すれば、時間延長のごほうびを用意してます。

他にこだわった点は？

椎橋 まずは、リアルな振動感。運転席の下に、本物のトラックで使っているエアサスペンションを4個仕込んでいます。通常、このサスペンションは振動を吸収するために使われるのですが、逆に働かせることで、よりリアルな振動を実現しました。

矢野 運転席の高さも、普通のドライブゲームより40cmほど高い、90cm仕様になってます。ハンドルも直径48cmで、これまた通常よりもかなりデカイ。

小山 開発にあたっては、スタッフ全員で日産ディーゼルのテストコースに行き、20トントラックの運転にチャレンジしたんです。いやー、とにかくデカかった。駐車場に戻ってきたら、普通のワンボックスが豆粒(笑)。

植草 運転席へはハシゴでのぼったし、
椎橋 高い位置で運転してるから、優越感があったよね。

小山 そこらへの無敵感覚は、可能な限りゲームに盛り込んだつもりです。実際に、ナムコに來ている運送会社の人にプレイしてもらいましたが、評判は上々でした。

椎橋 さすがにうまかったですよ。障害物の前でびたりと止まったり、ハンドルさばきも落ち着いていた。

小山 最も喜んで頂いたのが、ライバルキャラの悪者トラックへの体当たり。「こーいうの一度、やってみたかったんだよねー」って。(笑)

デコトラ界のカリスマ絵師も参画

ド派手な筐体も目を引きますよね。

小山 本物のデコトラや専門雑誌を見て研究しましたから。デコトラの命ともいえるべきペイントは、デコトラ界のカリスマ絵師と呼ばれる「すずき工芸」の鈴木勇先生にお願いしました。

矢野 実際、鈴木先生にペイントをお願いすると、2年待ち状態だそうです。

小山 最近は、ラッセン風とかアニメキャラとか、絵柄の種類も多彩になってきているんですが、デコトラとい

えばやっぱり砕け散る荒波だろう、と。で、波絵の先駆者でもある鈴木先生にお願いしたわけです。ただ、先生いわく

「これは波じゃない。獅子が寝いかかってくるのを表現したんじゃないか」と、独自の世界観をもったスゴイ方ですよ。

矢野 先生オリジナルの鈴木文字というのがあるんですが、これがまた波絵によく合うんです。筐体の「呑まれてみたい 恋の荒波」の文字がそれなんです。ツタのからまる様子をイメージしたと言っていました。プレイする前にはぜひ、見てみてください。(注：本誌掲載筐体は鈴木文字ではありません)

植草 背面のステンレスパンパーや、電飾にも注目してほしいですね。

椎橋 運転シートは紫の布も吟味しました。本物にも使われている「金華山」という素材なんです。これは社内でも大好評でしたね。あとは、真珠色のハンドルカバーとか、筐体についてはやれるところまでやったというカンジです。「ここまでやった？ ナムコってバカだなー」と言われるのが、最高のホメ言葉かも(笑)

オープニングのムービーは、60~70年代のアクション映画を彷彿とさせますが、

小山 最近CGは綺麗が当たり前なので、ユーザーの皆さんも並大抵のことで驚かなくなっている。だからあえて、時代に逆行して劇画タッチに仕上げてみました。

矢野 担当したCGクリエイターも、コンピューターに向かってはよりGペンを握ってる時間の方が多かったと言っていましたね。

プレイ中のBGMには、冠二郎さんの曲が流れていますよね。

小山 北島三郎や八代亜紀など演歌を中心に200曲くらい聞きましたが、冠さんの『バイキング』という曲を聴いた瞬間、「これだ！」ってパッチリはまったんですよ。

矢野 ロック演歌というジャンルなんです。曲も歌詞もイメージにぴったり。覚えやすく、つい口ずさんじやうですよ。

小山 『トラック狂走曲』では、冠さんの曲を5曲ラインナップしてます。気分とステージに合わせて聴き比べてみてください。

最後に、プレイヤーの皆さんに一言。

矢野 でかいハンドルを握って、『バイキング』を口ずさみながら、トラック野郎の気分にひたつくと嬉しいですよ。

植草 群を抜くド派手な筐体は、プレイヤーはもちろんギャラリも楽しめます。

椎橋 他のゲームを見下ろして、デコトラならではの優越感を存分に味わってほしいです。

小山 皆さん、交通道德は守りましょうね！



矢野 亨

開発設計本部 IDチーム



植草 薫一郎

開発設計部 電気チーム

特製プロマイド。ファンなら切りとって好きに使おう。



椎橋 敦史

開発設計本部 機械チーム

アニキの新曲、3月21日発売『ふたりの止まり木』。C/W/波止場恋する男の誠実な気持ちをしつとりと歌っているこの曲。演歌だけでなく、艶歌なんたな、これが。



CD: CODA1843 (1121円(税込))
MT: COSA1452 (1100円(税込))



2名様

冠二郎さんからNOURSの読者に色紙をプレゼント！
P17のアンケートハガキに「冠アニキの色紙希望」と書いて応募してくれい！

セイヤー！冠二郎兄貴、登場！！



2月25日、冠二郎さんが『トラック狂走曲』を応援しにAOUショーに来てくれたんだ。くろー、うれしいじゃないか、アニキ！この曲がなきゃ『トラック狂走曲』は完成しなかったというくらいアツイ魂を歌ってくれているアニキにインタビューしてみたぜ！「今回、私の歌を5曲採用してもらえたことは紅白に出演するのと同じくらい名譽で嬉しいことです。この『トラック狂走曲』はストレス解消に最高ですよ。ゲーム中でトラックを追い越したいときは『炎』を選んで、『セイヤー！』って声をかけながらクラクションをパーンと鳴らしてくれよ！そして上手く追い越したら『アイ・アイ・アイ・ライク演歌あ〜』って歌って欲しいな。」みんな！歌おうぜ！

この日は、本物のデコトラの荷台がステージ。アニキは『炎』『バイキング』、そして3月21日発売の新曲『ふたりの止まり木』を披露！観客もアツかったぜ！



新曲「ふたりの止まり木」もよろしく！！